

# かみみぞの福祉

第95号

令和4年

9月1日

編集 広報部会

心のかよいあう明るい上溝のまちづくり



KAMIMIZO

発行 上溝地区社会福祉協議会 相模原市中央区上溝7-7-17 TEL.042-703-9390 FAX.042-761-1249

全国地区社協に  
先駆けて発足!

## 上溝地区社会福祉協議会

# 創立70周年にむけて!

「70周年記念事業実行委員会」が発足し、一年が経ちました。

70周年を冠した5つの部会、役員会・記念事業部会・記念誌部会・記念式典部会・総務部会、それぞれで11月の式典に向かい活動しています。

その中で上溝地区の皆様にご協力いただきました記念事業のひとつ「折り鶴プロジェクト」の作業のようすを取材させていただきました。



一羽一羽テグスでつないで  
鶴と皆様の心をつないでいます



一万羽を超える  
鶴の色分け作業



試行錯誤のつなぎ作業

皆様に折って頂きました折り鶴約2万羽をコツコツとつなげて行く事でしたか完成しないこの事業、本当に頭が下がる思いになりました。

完成は9月頃を予定しているそうです。とても楽しみです。

多くの方に上溝地区社会福祉協議会が70周年を迎えることを知っていただけるよう横断幕4枚とのぼりを設置しました。皆さん探してみてください。(中島)

横断幕は  
全部で  
4枚!



各自治会さんや沢山の施設さんにご協力をお願いしています

お問い合わせ先

上溝地区社会福祉協議会事務局 平日午前9時から午後5時

住所: 相模原市中央区上溝 7-7-17 (上溝まちづくりセンター内) 電話: 042-703-9390 FAX: 042-761-1249



令和4年度

# 上溝地区社会福祉協議会の主な事業と部会紹介

上溝地区社協では、企画啓発部会、広報部会、サロン活動部会、ボランティア部会、福祉施設部会、交流の家(ぶらっと上溝)運営部会の6つの部会に分かれて、地域の皆さんと協議しながら、地区の福祉に関わる活動を行なっております。今回は各部会の今年の活動内容をご紹介します！

### 企画啓発部会

地域の実態把握や事業の企画及び立案を行っています。  
今年度の福祉講座は10月29日(土) 13時30分からを予定しており、車いすテニス金メダリスト国枝慎吾選手らをコーチ・監督として指導してこられた中澤吉裕氏を講師にお迎えし、パラスポーツの観点から福祉についてお話していただきます。

### 広報部会

地域住民に社会福祉の理解を深めるための広報及び啓発を行っています。

- ・広報紙「かみみぞの福祉」発行年2回(9月・3月)
- ・情報紙「かみふくニュース」及びポスター発行(随時)
- ・その他啓発活動

### サロン活動部会

高齢者、障がい者、子育てサロンの組織化及び連携とサロン活動の推進、支援及び情報交換を行っています。  
昨年度は1月から3月にかけて「健康スポレクひろば(全7回)」を開催しました。今年度も引き続き皆様が生き生き生活できるご提案をしていく所存です。

### ボランティア部会

ボランティア、福祉協力員、構成員、地区サロン推進者等の研修育成やボランティア活動の組織化及び連携を行っています。昨年度・今年度は70周年記念事業として折り鶴プロジェクトを企画し、地域の皆様にもご協力いただいた約2万羽の折り鶴を繋いだモニュメントを作成しています。モニュメントは式典以後公民館にも掲示を予定しておりますので是非ご覧ください。

### 福祉施設部会

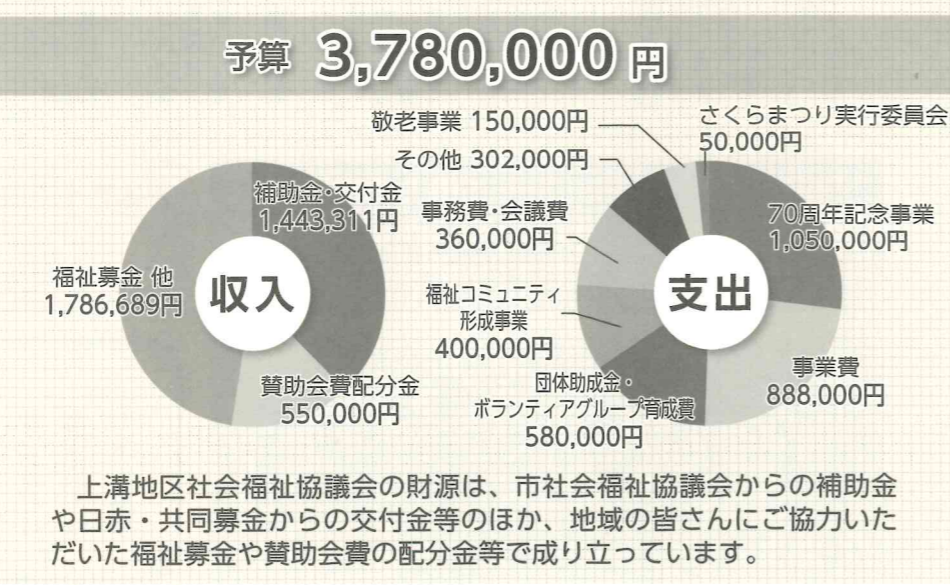
地区内福祉施設との連携及び交流事業の推進を行っており、毎年2回、高齢者・障がい者・児童福祉施設を対象に福祉施設連絡会を開催、福祉施設従事者に役立つ勉強会を行っています。今年度は10月に昨年コロナ感染拡大の影響で実施できなかった「ストレスマネジメント」をテーマに福祉施設連絡会の開催を検討しています。

### 交流の家(ぶらっと上溝)運営部会

「ぶらっと上溝」の事業企画及び運営管理を行っています。  
現在「ぶらっと上溝」では感染予防対策を行いながら「弁護士無料相談」や「絵手紙教室」など9事業が実施しています。  
今年度は秋にぶらっと上溝を拠点とし、上溝地区の施設を巡るスタンプラリーを計画しています。この機会に地域の施設を探してみてください！

### ご協力ありがとうございました

上溝地区社協70周年の記念事業「折り鶴プロジェクト」には沢山の地域並びに福祉施設の皆様にご協力いただきありがとうございました。現在、集められた約2万羽の折り鶴をご協力くださった皆様一人ひとりのお気持ちと重ね合わせてひとつに繋げたモニュメントにするべくボランティア部一同で作業をしております。  
お披露目の際には改めて広報いたしますので、是非ご覧いただければ幸いです。



## 上溝ボランティアセンターのたちあげ！

### なぜボランティアセンターが必要なの？

上溝地区社会福祉協議会創立70周年記念事業の一つとしてボランティアセンターの立ち上げをしようと考えています。  
団塊の世代がいよいよ後期高齢者になってきます。上溝地区においても急速に高齢化が進んでいます。ひとり暮らしの高齢者も急増し、また、障がいのある方や介護している方、子育て真っ最中の方など日常生活の中で支援を求めている方が大勢います。日々の困りごとを少しでも助け合うことができたらとの思いから70周年を記念してセンターの立ち上げ準備をしています。

### 上溝地区の人と人をつないで

幸い上溝地区には多くのボランティアグループがそれぞれ目的をもって活動を続けており、地区社会福祉協議会はそれを支援しています。  
グループの活動目的を大切にしながら、横のつながりを密にする。高齢化などからメンバーが減少する悩みなどにも対処する。また個人でボランティアに加わりたい方も発掘する。以上のことにより地区全体の活動の活性化を目指しセンターの立ち上げをしようと考えています。

### あなたも活動の主力に！

センターの拠点は交流の家「ぶらっと上溝」に併設するよう考えています。  
運営については「運営委員会」を組織し、住民の方から要望を伺い対応するよう考えています。  
そのためボランティアを広く募集します。多くの人の応募をお待ちしています。(田中)

## 創立70周年を迎えて

上溝地区社会福祉協議会会長 磯 隆司

上溝地区社会福祉協議会が本年4月に創立70周年を迎えました。昭和26年に全国社会福祉協議会からモデル地区に指定され、翌年4月に全国の先駆けとして創立されました。  
この記念すべき節目に、当協議会は3年前から準備委員会を立ち上げ準備を進めてきましたが、コロナ禍で様々な難題に直面運びとなりました。  
当協議会の歴史を振り返ってみますと、創設期は何もかも前例のない活動を始められ、関係者からの熱い視線と地域の皆様からは多大な期待が寄せられ、当時の役員やスタッフの皆様の福祉活動への思いと努力は並々ならぬものがあつたものと推察されます。  
そうした諸先輩の熱意と努力が脈々と今日まで続いて来られ、今の当協議会があり、改めて「継続は力なり」を実感するところでもあります。  
近年は、少子高齢化が一段と加速し、子育てから高齢者までの福祉の課題は山積しております。節目を迎えた今、記念事業として立ち上げ準備中の「上溝ボランティアセンター」は地域の福祉活動の中核として皆様の期待に応えられるよう、スタッフ一同頑張つて参りますので皆様の温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

- ### 令和4年度 上溝地区社会福祉協議会 役員・理事紹介(敬称略)
- |     |                   |
|-----|-------------------|
| 会長  | 磯 隆司(有識者)         |
| 副会長 | 永野 堅次(有識者)        |
| 理事  | 幸一(有識者)           |
| 理事  | 正志(有識者)           |
| 理事  | 中山 充明(自治会連合会)     |
| 理事  | 小林 今子(民生・児童委員協議会) |
| 理事  | 中島 今子(民生・児童委員協議会) |
| 理事  | 桑水流良光(民生・児童委員協議会) |
| 理事  | 金光みどり(上子連)        |
| 理事  | 鈴木 崇之(商店街振興組合)    |
| 理事  | 佐藤 浩史(地域包括支援センター) |
| 理事  | 金田菜津美(上溝小学校PTA)   |
| 理事  | 遠藤 靖明(上溝南小学校PTA)  |
| 理事  | 八木 直美(上溝中学校PTA)   |
| 理事  | 長澤 美雪(上溝南中学校PTA)  |
| 理事  | 佐藤 和夫(高齢者福祉施設)    |
| 理事  | 前澤 陽一(障がい者福祉施設)   |
| 理事  | 吉川 恵美(上溝ひまわりの会)   |
| 理事  | 古木 太一(しぶがき)       |
| 理事  | 山口 隆夫(福祉活動経験者)    |
| 監査  | 根岸 利昌(公民館)        |
| 監査  | 清水 宏(老人クラブ連合会)    |
| 庶務  | 永山 一雄(有識者)        |
| 庶務  | 清水 洋子(児童福祉施設)     |
| 庶務  | 廣田 悦子(まるさきランド)    |
| 倉橋  | 強治(自治会連合会)        |
| 飯塚  | 芳雄(民生・児童委員協議会)    |
| 亀崎  | 武(自治会連合会)         |



ふれあい ささえあい

上溝小学校は2023年に150周年を迎えます！

上溝小学校は、相模原でもっとも古い公立小学校の1つです。

1873年(明治6年)に『上溝学校』として、上溝小学校の歴史が始まり、来年度(令和5年)が150周年となります。

この記念すべき150周年を地域一体となって盛り上げようと、歴代校長や歴代PTA役員、地域の皆様で作る『150周年記念事業実行委員会』を立ち上げ、現在進行形で様々な記念事業計画を進めています。

また、大人たちの実行委員会とは別に、在校生による実行委員会も結成され、上溝小学校一丸となって取り組んでいきます。



主な会議は休み時間に。こちらはスローガンを決めている時の様子



上小児童5・6年生による実行委員会、18名で頑張っています！

そして、在校生による実行委員会でもスローガンも決まり、今後キャラクターやロゴを決め、記念グッズなどを作成する予定です。

上小150周年スローガン『未来へ！つなぐ伝統 つなげる笑顔』

お問い合わせ

150周年記念事業や寄付金に関するお問い合わせはこちらからお願い致します。

上溝小学校150周年記念事業実行委員会事務局

神奈川県相模原市中央区上溝7-6-1

TEL: 042-762-0024

担当: 副校長



上溝小学校150周年記念事業実行委員会ホームページ



詳細は、上溝小学校150周年記念事業実行委員会ホームページをご覧ください。ホームページでは150周年記念事業を盛大に行うため、皆様からのご寄付を募っております。皆様のあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。(金田)

こんな時どうすれば？



\*高齢者に遠方の道順を尋ねられた

\*バッグ(手提げ袋)の持ち物が場にそぐわず不自然に感じる

この様な場面に遭遇したら？

「警察」としても...110番? 「支援センター」としても番号を知らない...

そんなときには

○ご本人の話に少し耳を傾けてください。

○「心配なのか」「不安なのか」、近くに店舗があれば「SOS!」一緒に話を聞いてもらえればベストですね。

\*声をかける時のポイントについて上溝地域包括支援センターからアドバイスをいただきました。

○正面から、相手の目線に合わせ声をかける

○笑顔で(優しく)ゆっくり、分かりやすい言葉で声をかける

○誰かと一緒にしても声をかける時は一人が望ましい(複数の人から言われると混乱してしまうこともあります)

○警察やセンターに連絡をする際にはその場で連絡をする。離れたところだと駆け付けても本人が動いてしまい会えない場合もあります。

皆さんの小さな手助けが困りの方を救う大きな力となります。お互いに気にかけて支え合える地域って素敵ですよ。(金光)

上溝地域包括支援センター TEL: 042-762-07055

福祉募金(9月~11月実施)ご協力をお願い

自治会のご協力により、皆様のご家庭に募金箱を回させていただきます。今年もご協力をお願いします。

日本赤十字会員増強運動(令和4年8月15日現在)

1,363,047円

ご協力ありがとうございました。

令和4年度

広報部会員

部会長

田中 正志

副部会長

中島 今子

部会員

久保 裕次

清水 宏

金光みどり

金田菜津美

八木 直美

編集後記

第95号をお読みいただきありがとうございます。

協議会の活動もコロナに左右される中、一致団結して今この状況でできることを模索しています。

11月には70周年記念を控えており今後本誌を通じて、活動や情報をお伝えしていきたいと思えます。(八木)